

統計

伊万里

I M A R I

平成 28 年
(2016年)



伊万里市

伊万里市は、昭和29年4月に2町7村が合併して誕生し、平成26年に市制施行60周年を迎えました。

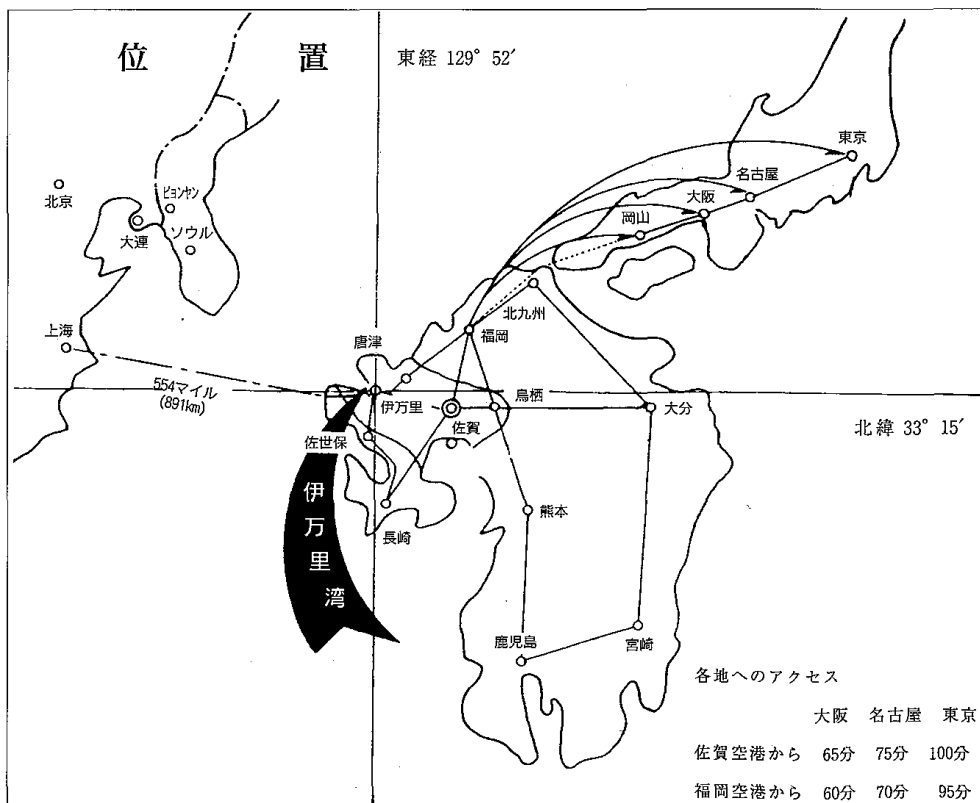
本市は、佐賀県の西北部にあって、東松浦半島と北松浦半島の結合する位置にあり、伊万里湾が深く入り込んだ天然の良港を擁しています。古くから大陸貿易の基地として発展し、江戸時代には「古伊万里」の積出港として栄え、「イマリ」の名を世界に広めました。また、伊万里湾には全国でも数少ない、生きた化石といわれるカブトガニが生息しており、平成27年には、多々良海岸一帯が「伊万里湾カブトガニ繁殖地」として国の天然記念物に指定されました。

平成29年は、伊万里市の文化の振興や産業の発展を支えてきた伊万里港が開港50周年を迎えます。さらに、中国・大連市との友好交流30周年とも重なることから、次なる50年における伊万里港のさらなる振興のための節目の年にします。

産業の面では、鍋島藩窯300有余年の歴史と伝統を誇る伊万里焼をはじめ、伊万里梨や伊万里牛などの特産品も全国的に有名です。“秘窯の里”として知られる大川内山には、かつて藩窯がおかれ、将軍家献上のほか、公家や諸大名への贈答品として至宝「鍋島」が生産され、平成15年には大川内鍋島窯跡が国史跡の指定を受けました。

また、観光や産業活動など地域間交流に大きく寄与する西九州自動車道が、福岡方面では南波多谷ロインターチェンジが、松浦市方面では山代久原インターチェンジが供用開始となりました。平成29年度は、待望の伊万里東インターチェンジ（仮称）が開通し、観光誘客の主要なターゲットである福岡都市圏との移動時間がさらに短縮されます。

『伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく4つの基本目標の実現に向け、人、産業、地域が元気なまちづくりのための事業展開と市民との協働に重点を置いた市政運営に努めています。





市長 塚部 芳和

市の花



つつじ

市の木



マキの木

伊万里市

